栗東市立治田西小学校　学校だより　　令和８年１０月２日

かけはし

NO. ８

児童数　４６７名

〈学校教育目標〉　仲間とともに　全力で学び、活動する治西っ子の育成

㋫　はきはき話し、こつこつ学ぶ子　　㋬　ルールを守り、元気にあいさつする子
㋣　にこにこ笑顔で、仲良く活動する子　　㋭　しんじ合い、互いに助け合う子

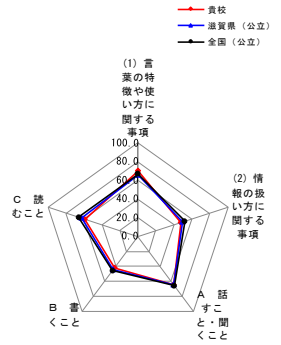
令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

４月２３日（木）に、文部科学省が小学校６年生および中学校３年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査について、７月末に調査結果が公表されました。「児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること」を目的に、学校生活や家庭生活の学力の背景を含めて調査されています。「教科に関する調査」と「質問調査」の2つが実施されました。本校においても、その結果を踏まえ、８月に校内研修を行い、分析をするとともに改善策について話し合いました。調査対象は6年生ですが、学校全体の状況と捉え、全学年を通じて一層の改善を図ってまいります。

以下に、学力状況調査の結果概要及び改善策の方向性についてお知らせします。なお、６年生の児童の個々の結果につきましては、個別懇談会時に、前期あゆみと一緒にお渡ししています。

教科に関する調査

国語



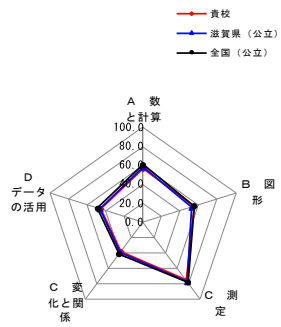
本校の主な状況

言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が高い。どの領域についても、ほぼ全国平均と同程度の状況である。情報の扱い方に関する事項、読むことについては、やや課題が見られる。また、「書くこと」において、記述式の問題に対する無回答の割合が全国平均より多く、選択式の問題であっても「分からない」ことに関して、無回答になる割合が全国平均より多い。

本校の改善の方向

・集めた情報を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容や表現する内容を検討する場面を設定する学習の工夫
・書く活動への抵抗を減らすことにつなぐ学年に応じた学習の定着化
・文章を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるような学習の工夫

算数



本校の主な状況

図形の領域は正答率が高い。やや全国平均を下回っている領域がある。特に、数と計算について、整数と少数の計算、概数の表し方や割合の意味の理解について課題が見られる。
異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いた記述にも課題が見られた。

本校の改善の方向

・算数の用語や表現については、知識の習得と、習得した知識を活用する活動の繰り返し
・基礎基本の確実な定着に一層の工夫および数学的な考え方を働かせる指導の工夫
・自分の考えを文章や言葉に表して説明し合う活動の設定

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

質問の内容	本校（%）	全国（%）	比較(ポイント)
人が困っているときは、進んで助けていますか	98.8	92.7	+6.1
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	85.9	80.1	+5.8
あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	84.7	74.8	+10.1
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	96.5	91.4	+5.1

総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	89.4	79.7	+9.7
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87.1	81.5	+5.6
学校の授業時間以外に、普段一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科や参考書、漫画や雑誌は除く）	３０分以上 34.2	３０分以上 26.1	+8.1
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	71.8	77.9	−6.1
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	73.0	80.8	−7.8
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	72.9	79.9	−7.0
５年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか	82.4	88.3	−5.9
普段一日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等を使って SNS や動画視聴をしますか（学習時間は除く）	４時間以上 30.6	４時間以上 21.9	−8.7
学校の授業時間以外に、普段一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師に教わる時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）	２時間以上 16.5	２時間以上 21.6	−5.1

本校の主な状況と改善の方向

・タブレット PC の活用について、様々な方法で学習を進め、それぞれの学習方法のよさを実感できている様子が窺える。今後も、個々の課題や必要感に応じて、より適切な学び方を提供できるような授業づくりに努めていく。
・授業で学んだことを振り返り、この学びをしてよかったと思えるように授業を改善していく必要がある。
・家庭学習の手引きを活用し、保護者との連携により家庭学習の習慣化に一層取り組む。
・教科学習のおもしろさを実感できる学習の工夫をしていく。

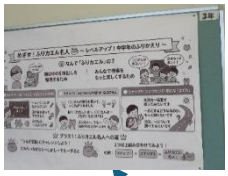
本校の令和8年度全国学力・学習状況調査の結果概要については、特に保護者の皆様と共有したい部分を選んでお伝えしています。なお、以下に示す内容は学力の特定の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いします。本調査結果は、今後の本校児童が学力を身に付けるための大切な資料として活用していきたいと考えています。

我が校の「学ぶ力向上策」

本校では、「読み解く力」の育成に重点をおいた3つの視点から、我が校の「学ぶ力向上策」を策定し、取組みを進めています。また、8月の校内校内研修では、全職員で調査の分析から考察し、今後学年に応じて取り組んでいきたいことを話し合いました。

視点①子どもたちが主体の授業づくり	【視点2】学びを支え合う集団づくり	【視点3】協働して取り組む学校づくり
①学びに見通しと目標をもち、学び合いを振り返る学習指導の工夫 ②学年部で取り組む内容の実践を振り返る場を設定し、見直す。 ③ICT 機器を効果的に活用した授業の展開	①なかよしタイムでの異学年交流や学校行事等、他者とつながることで、学び合いができるような特別活動の充実	①子育て教育 Next プロジェクトによる中学校区ごとの共通実践 ②各部において、「仲間とともに全力で学び、活動する治西っ子の育成」に向けた方策の実施

改善に向けた取り組みの事例





学年部で統一した「ふり返りの観点」をもとに、授業でわかったことを書き、次時へつなぎます。



目的意識をはっきりさせて友だちと交流します。

学習計画を児童と一緒に考え、主体的な学びにつなぎます。





読書の推進とともに、教科学習でも更に図書室の利用を増やします。

マイ辞典・マイブックの取組を定着していきます。



ご家庭にお願いしたいこと

・ 子どもたちが目標に向かってがんばり続けることができるよう、励ましの声かけをお願いします。
・ 規則正しい生活は、子どもたちの健やかな成長に欠かすことができません。引き続き、早寝早起き、朝ご飯をはじめ、規則正しい生活習慣が身につくためのサポートをお願いします。また、スマホや SNS などの使い方については、各家庭のルールを再確認していただき、適切に使用していただけるよう、ご配慮をお願いします。